

教科	音楽	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌詞の内容や曲想を生かした表現 ●校歌、楽典 ●指揮法の導入と基本 ●花、荒城の月 ●帰れソレントへ ●アルトリコーダーの表現と工夫	8	表現するための基礎的な技能や奏法を身に付け、音楽の要素を捉えながら曲想の変化を感じ取って表現の工夫をする。	歌詞の内容や曲想、リコーダーの特徴を生かした音楽表現をするために必要な、基礎的な技能や奏法を身に付けて表現している。	音楽の諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を感じ取ったり、リコーダーの特徴を捉えた音楽表現を工夫する。どのように表現するかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想、リコーダーの特徴に関心をもち、基礎的な技能や奏法を身に付けて表現する学習に主体的に取り組もうとしている。
音楽の構造と曲想との関わりを感じ取って ●「ボレロ」、惑星から「火星」 ●「アランフェス協奏曲」	3	リズムや旋律の特徴を聴き取り、音楽の構造と曲想との関わりを理解して鑑賞する。	曲想とリズムや旋律の反復による音楽の構造との関わりについて理解している。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
箏の基本的奏法と表現 ●「さくらさくら」	2	箏の音色と奏法との関わりを理解したり、基本的な奏法を身につけたりしながら表現する。	箏の音色と奏法との関わりを理解している。創意工夫を生かした表現で、演奏するための右手と左手の使い方などの技能を身に付けている。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
総合芸術の表現—日本と世界の舞台芸術— ●能 ●文楽 ●歌劇「アイーダ」 ●バレエ、ミュージカル	5	物語の進行を理解し、音楽と舞台が一体となって表現される総合芸術に親しむ。	音楽の特徴と、物語の進行や登場人物の心情、舞台の表現との関わりについて理解している。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
言葉のリズムや抑揚を生かした表現 ●楽曲全体の構成 ●CMソング	2	言葉のリズムやまとまりを捉えて、テーマに合う音や言葉を選んで表現する。	旋律の反復とその効果などから構成上の特徴を理解している。課題に沿った音や旋律の組み合わせを選択する技能を身に付けている。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫している。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
混声合唱の響きと表現 ●合唱コンクール課題曲・自由曲 ●卒業式歌	15	歌詞の内容や曲想を味わい声部の役割と全体の響きとの関わりを生かして表現を工夫する。	曲想や声部の役割と全体の響きとの関わりを生かした音楽表現するために必要な技能を身に付けて歌っている。	速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら思いや意図をもって歌っている。	曲想や声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心を持ち音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
35					